

活動テーマ

観光・地域資源の活用と支援並びに保護活動

飯能市西吾野地区 獨協大学

1. 活動目的

我が国では過疎化問題が各地で進んでおり、我々が活動している飯能市西吾野地域でも現状は顕著である。飯能市の約 80%は中山間地域である。市民の所在地分布では 80%が市街地に居住し、残りの 20%が中山間地域に居住している。このため高齢化、過疎化が進むことで農林業や地域活動の維持が困難な地域とされている。このような過疎問題を解消すべく我々、高松ゼミでは西吾野地区で地域活性化活動を行っている。

2. 活動地域の現状

地域の現状は西川材に代表される豊かな森林と空気の澄んだところである。しかし、吾野地区の駅前には商業施設や人通りも一切なく静かな印象である。また、電車の本数は 1 時間に 2, 3 本と都心に比べかなり少ない。さらに、少子化の影響で小学校は統廃合され、益々人口減少が加速化しているようである。

3. 活動内容

今年度の活動内容は、すべて地域住民との交流を伴う中で実現したものである。多少、地域外の活動も含まれるが、これも地域との関わりで行われた。

活動日	活動内容	人数
6月21日	学校長へのフェノロジーカレンダーのプレゼン	3
8月7日	地域へのフェノロジーカレンダーのプレゼンとWS	16
8月16日	北川の獅子舞を視察	5
8月20～24日	野菜集配支援活動	15
8月21日	サマースクール支援活動	9
8月22日	サマースクール支援活動	8
11月11日	トレイルラン参加・運営	15
11月18日	秋のお散歩マーケットの運営	5
11月24日	柚子狩りともみじ祭りの運営	8
11月25日	柚子狩りともみじ祭りの運営	6
12月9日	地域交流	8
12月15日	地域交流	5
12月16日	地域交流	14
12月22日	地域交流	8
1月16日	地域交流	6

・運営協力として参加したお散歩マーケット



・「農業支援」のお手伝いとして、ゼミ生は野菜集配活動を行った。



・今年度からは飯能市に人を呼ぶツールとして「フェノロジーカレンダー¹」の作成にも取りかかっている。フェノロジーとは生物季節学または花暦学を意味する。自然を中心とする年間暦のことで一年間の自然と生活の流れをつかむことは、時間軸を考慮して地域を立体的に理解し、資源の利活用の在り方を検討していく上で重要な手がかりとなる。フェノロジーカレ



¹ フェノロジーとは生物季節学または花暦学という意味する。自然を中心とする年間暦のことで一年間の自然と生活の流れをつかむことは、時間軸を考慮して地域を立体的に理解し、資源の利活用の在り方を検討していく上で重要な手がかりとなる。

ンダーの制作に向けてこの日は地元の方に集まっていただき、ワークショップを開催した。地域の方とゼミ生が班に分かれて「駅名を変えるとしたらどのような名前にするか」といったWSを通して一緒にディスカッションをした。我々が知っている飯能は表面上のような知識ばかりで、やはり実際に住んでいる人の意見や知識はとて多く初めて知ることばかりでいい機会となった。



・昨年度からイベント開催に向けて準備してきたトレイルランの世界大会がこの日ようやく開催された。我々ゼミ生も受付などの運営協力とランナーに分かれて大会に参加しました。この大会は日本人よりも圧倒的に外国人の方が多く、たくさんの交流の場でもある。準備期間から深く関わってきたのでこの大会が成功して本当に良かった。

4. 成果

活動2年目に突入した我々の飯能市での活動は昨年度の準備期間を糧に多くの活動を実行することができた。昨年度同様飯能市のイベントや祭りなどの運営協力に加え、地域の方々と打ち合わせをし、共に準備や整備を行ったトレイルランニングコースを活用したトレイルランの世界大会を開催することができた。これにより世界中の多くのランナーが飯能に集結し、走るだけではなく、地域の方とも交流する機会ができた。また、今年度からは飯能市に人を呼ぶツールとして「フェノロジーカレンダー」の作成にも取りかかっている。そこに住む方に直接話を聞き、我々が作るのではなく、飯能に住んでいる人が主体となり、我々がそれをサポートするような形で完成まで進めていきたい。

5. 課題

- ・活動日が土日なためゼミ生のスケジュールが合わず、人が足りないという状況がある。
- ・フェノロジーカレンダーの制作において材料集めが終わったものの、どのような形で作り始めるかがまだ完全に定まっていない現状である。

6. 次年度以降の計画

まず、新しく入ってきたゼミ生に飯能のことを知ってもらうため、飯能の町歩きを実施する。それと併せて地域の方々と交流をしたい。そして、実際に過疎地域の実態を見て、地域活性化に関して現実的に考えてもらう必要がある。また、例年同様、飯能市で行われるイベントや行事の運

営協力を行っていく。次に、今年度から制作を開始したフェノロジーカレンダーをより現実的な形にすることである。最後に、次年度も開催が決定しているトレイルランの大会に運営協力、ランナーとして参加することで大会と共に飯能市を盛り上げることである。